

## 『子育て・教育環境の向上』

子どもたちにおいしい給食を安心して食べてもらうとともに、保護者の経済的な負担を軽減するため、4月から小学校給食費の無償化を行います。

子どもの医療費助成について、子育て中の保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てできる環境づくりをより一層支援するため、4月から対象を高校3年生までに拡充します。

子どもの居場所や遊び場としても重要な役割を担っている町内の公園については、施設の老朽化が顕著になっていることから、特に子どもの利用が多い「なかよし公園」と「馬場公園」の2か所をリニューアルします。

学校施設を安全・安心に利用できるよう徹底的な点検と修繕を行い、町立学校の施設整備方針などを定めるため『学校教育施設整備基本構想』を策定します。

## 令和5年度 施政方針

令和5年2月13日（月）に行われた町議会本会議において、池田町長が令和5年度の町政運営の基本的な考え方となる施政方針を述べました。令和5年度は、町長に就任して最初の当初予算編成になります。政策集に掲げた6つの項目、「子育て・教育環境の向上」「福祉・医療の充実」「地域活性化」「自然環境保全」「防災」「行政機関・その他」の一つひとつの予算化を図り、もっと安心して暮らせる大磯をつくり、人口減少に歯止めをかけていきたいと思えます。令和5年度は、人口減少対策元年と位置付け、これらの政策を「大磯をもっと前へ。1stステージ」として進めてまいります。

# 『大磯をもっと前へ。』

政策課 内線205

## 『福祉・医療の充実』

大磯町社会福祉協議会と協議を行い、役員の体制づくりの支援や町職員の派遣などによる人的支援の検討など、業務運営体制の強化につなげる運営支援に取り組みます。

総合的・計画的な地域福祉施策の推進に努めるとともに、高齢者が地域で定期的に集まる介護予防の通いの場の全町内設置へ向け、大磯町社会福祉協議会と連携して取組みを進めます。

障がい者福祉環境の整備として、グループホームの家賃助成や事業所などに通所する際の交通費助成を充実させ、障がいがある方が、さらなる自立に向けた生活ができるよう支援します。

## 『地域活性化』

大磯港の水揚げ量の向上を図り、地元の魚が地域で消費される機会を増やすため、大磯・二宮漁業協同組合が令和5年度の操業開始に向けて準備している定置網漁業に対して助成を行い、漁業の活性化を図ります。

大磯港賑わい交流施設を拠点に、多くの方に大磯ゆかり製品の魅力を知っていただき、誘客につながるよう環境づくりを進めます。みなとオアシスエリアから地域の賑わいへとつなげていく取組みの一つとして、夏には「ウィークリー打ち上げ花火」や子どもたちが「水に親しむ」イベントなどを行います。

郷土資料館別館の旧吉田茂邸においては、より魅力ある施設としてのサービス向上のため、新たな展示や室内環境の整備を進めます。

## 『自然環境保全』

近年、猛威を振るっている松くい虫による松枯れの被害拡大の防止に向け、枯れ松の伐倒や松枯れ防止剤の樹幹注入、抵抗性松の補植を引き続き行うとともに、被害が大きい大磯プリンスホテルの松林についても、所有者と協力・連携した被害対策を図るなど、町内の松林の保全に努めます。

廃棄物処理について、ごみの減量化、資源化の推進による循環型地域社会を形成し、皆が自分事ととらえ、取り組むための普及啓発を継続して行っていくとともに、排出されるプラスチックごみの処理の在り方について調査、研究を進めます。

## 『防災』

現在稼働している「防災行政無線」、「おいそ防災・行政ナビ」に加えて、「防災ラジオ」などの新たな情報発信方法の導入を検討し、情報伝達手段の多重化・多様化による災害に強い基盤強化を進めます。

平成18年度に配備された救助工作車は17年が経過し、さらなる救助体制の充実強化を図るため、消防車両の更新を行います。

消防団の活動拠点である詰所についても計画的な改修を進めます。

近年の集中豪雨や台風などによる河川などへの浸水対策については、三沢川と金目川との合流部における水門設置に向け、詳細設計業務を実施するとともに、国府新宿地区を重点とする雨水管整備を継続して進めます。

## 『行政機関・その他』

大磯駅前広場の整備について、昨年8月に実施した町民アンケート調査の結果を踏まえ、バス停などへの上屋設置や電線類地中化工事などの設計作業の追加、交通島の一部の工事を進めます。さらに、令和6年度の完成をめざし、国府橋の架け替え工事に着手します。橋りょう、トンネルについては、5年ごとの法定点検を実施し、適切な道路構造物の維持管理、計画的な修繕工事を進めるとともに第2期目となる橋りょう長寿命化修繕計画の更新作業も進めます。

また、4月から火葬料補助金の交付上限額を9万5,000円に上げます。

## 令和5年度の主な事業 第五次総合計画の5つの施策の大綱に基づき、主な事業を紹介します。

### 1 安全安心でいきいきとくらすまちづくり

新 横溝千鶴子記念障害福祉センター整備事業	1,940万円
新 三沢川樋門整備事業	4,770万円
新 消防自動車購入事業	8,948万円
新 消防団分団詰所改修事業	306万円
戸籍住民基本台帳運営事務事業 (火葬料補助金の拡充など)	5,113万円
地域生活支援等事業 (障がい者グループホーム家賃助成金など)	4,499万円
こども医療費助成事業	9,960万円
大磯駅前広場整備事業	2,968万円

### 2 町民の力や知恵が集まるまちづくり

新 国府支所施設整備事業	936万円
新 地域会館整備事業	1,000万円
町村情報システム共同運営事業 (県内14町村による共同化、コンビニ交付サービスなど)	9,885万円
情報化推進事業 (スマート申請サービス、引越しワンストップサービスなど)	3,486万円
個人番号交付事務事業	776万円

### 3 快適でくらしやすいまちづくり

新 公園施設更新事業	8,916万円
明治記念大磯邸園整備事業	1億5,391万円
森林病害虫等対策自主事業	671万円

ごみ処理広域化運営事業 (環境事業センター・リサイクルプラザ運営費負担金など)	1億2,056万円
リサイクルセンター運営事務事業	1億6,550万円
し尿処理施設更新事業(調査委託料)	4,500万円
都市計画決定事業	756万円

### 4 心豊かな人を育むまちづくり

新 中学校施設・設備改修事業	1,000万円
新 大磯ゆかりの画家によるアトリエ文化発信事業	476万円
子ども・子育て支援新制度運営事業	6億638万円
学校職員校務用コンピュータ整備事業	4,842万円
学校給食運営事業(小学校給食費無償化補助金など)	8,306万円
学校昼食運営事業	5,705万円
図書館コンピュータ・ネットワークシステム推進事業	783万円
旧吉田茂邸運営事務事業	1,066万円

### 5 元気や活力が生まれるまちづくり

新 漁業活性化推進事業	1,183万円
新 観光案内所建替事業	799万円
新 幹線21号線整備事業(国府橋整備工事負担金など)	7,032万円
橋りょう長寿命化修繕事業	1億400万円
国府本郷西小磯1号線整備事業	5,077万円
都市交通推進事業	2,008万円
農地活用・鳥獣対策事業	1,037万円
商工業振興対策事業	2,702万円
海水浴場振興事業	1,978万円
みなとオアシス推進事業 (ウィークリー打ち上げ花火など)	1,065万円
大磯港指定管理事務事業	7,066万円
ポートハウステルがさき管理運営事業	1,468万円